

石和温泉で

中国人研修生の研修修了式

無事研修を終え、笑顔で給付金を受取る

ACTIVE KUMIAI

石和温泉旅館協同組合加盟の16施設で接客マナーなどを1年間研修してきた中国 山西省太原旅遊職業学院の46名の研修生に1次受入機関である笛吹市の荻野正直市長より修了証書が授与された。

研修生は、日本語や挨拶などの接客の基本や案内、配膳、見送りなどの実務研修を行ったほか、山梨県内の観光地の見学、ジュエリー・ワインなどの地場産業の生産現場の見学に加え、県外の観光地の研修も行った。

荻野市長は、研修生の一人一人に修了証書を手渡すとともに、研修生の代表に定額給付金を手渡した。研修生は、外国人登録を行っており、笛吹市内で寮生活を送っているため、幸運にも給付金を手にすることができた。荻野市長からの、笛吹市内でお土産を買って下さい。」という呼びかけに対し、「お土産を買って帰ります」と応じ、友達同士で何を買おうかと笑顔で相談していた。

山下理事長は、「1年間いろいろな苦労があったと思いますが、1人も欠けることなく研修を終えることができたのは素晴らしいことである。笛吹市をはじめ、関係者の協力により無事研修を終えることができたこ

笑顔で修了証書を受け取る



お礼を述べる研修生



とを忘れないで欲しい。また、石和温泉、笛吹市、山梨県や日本の良さを帰国後に多くの人に伝えてもらいたい。」とあいさつを述べた。

研修生の賈春燕さんは、関係者への感謝の気持ちを述べるとともに、「おもてなしの心や日本人の勤勉さや日本の文化などを学んだ。研修での経験は今後の自信になる。今後の人生に役立てたい。」などと、豊富を述べるとともに、「印象的なのは、世界一早い富士急ハイランドのジェットコースターに乗ったこととディズニールランドに行ったこと」と語った。

研修生の多くは、帰国後に旅行関連の仕事や通訳として活躍する予定であり、笛吹市や山梨県への中国人観光客の一助となることが期待されている。荻野市長は、「帰国後に一人でも多く観光客を送客することが、関係者への一番の恩返しになる」と期待を述べた。

旅館組合では、関係者とともに、笛吹市国際観光振興協会を立ちあげ、研修生の受入が円滑に行われるよう打合せを行ってきた。22日には、地域住民を招待し、今後地域住民と研修生や外国人観光客との交流が円滑になることを願い、文化交流を兼ねたお別れのイベントを実施した。



授与式参加者の記念写真